

平成27年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表

No.1

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者	
<p>日本共産党 南丹市議会 議員団</p> <p>綱岡 誠 (一問一答)</p> <p>質問予定日 6月11日 午前</p>	<p>人事(採用)</p>	<p>保育士の人材確保について</p>	(1)保育士確保(採用)についての基本的な考えは。	<p>市 長</p>	
			(2)採用が困難な要因をどう分析しているか。		
			(3)多角的な見地から対応を検討すべきではないか。		
			①配置先の配慮と生活基盤の確保		
			②男性保育士の複数配置		
			③身分混在解消への努力		
	<p>組織</p>	<p>支所の組織改編について</p>	(1)組織改編の理念(趣旨)は何か。	<p>市 長</p>	
			(2)昨年度と比べて支所の業務量はどうなったのか。		
			(3)住民サービス向上に資する改編であったか。		
			(4)庁内議論の結果と実際の改編内容が異なったのはなぜか。		
<p>活緑クラブ</p> <p>松尾 武治 (一問一答)</p> <p>質問予定日 6月11日 午前</p>	<p>地域振興</p>	<p>国が示す地方版総合戦略、地方創生の見解は</p>	①企画政策部に新たに定住・企画戦略課を新設したが、各課の事務分掌を見ると「住みやすい町」の実現で人口3万4千人を維持する総合戦略を立案するよりも、単に仕事を分散し縦割りの構図を明確にしたものと思われるが、「南丹市の総合戦略」の立案でどのような構想を描かれているのか見解を伺う。	<p>市 長 担当部長</p>	
			②地方創生は、成果が求められるが、このような組織体制で定住促進の成果がでるのか見解を伺う。		
	<p>介護保険</p>	<p>過疎地域の振興には、効果的な活性化策が必要と考えるが</p>	①過疎地域の活性化に「農林・商工」への効果的な施策が必要と考えるが担当部長の見解を伺う。 ②自然環境を守る新事業の創設が、過疎地域の活性化に繋がるが、担当部長の見解を伺う。 ③定住促進センターは過疎地域への移住促進に活かせると思うが、センターの運営方針を担当部長に伺う。		
			<p>介護保険</p>		<p>介護保険料基準額の地域間格差とその是正策は</p>
	他の自治体の例をとると高額な介護保険料が、必ずしも給付額に比例しない事が解るが、高額負担の原因を担当部長に伺う。				
	介護認定者数が高齢者の20%以上になっている現状への認識を伺う。				
	自治体の責務として介護保険法、4条2項に示されているように、介護保険費用の公平な負担からすると、高額負担を改善する責務が自治体にはあると考えるが見解を伺う。				
	<p>地域振興</p>	<p>ふるさととの誇りと絆支援制度について</p>	<p>高齢者の社会参加が介護保険・国保の健全運営に繋がると考えるが</p>		要介護の未然防止事業が、介護保険及び国保の健全運営に繋がると考えるが見解を伺う。
					<p>観光の環境整備</p>
	②支援制度の活用状況は。				
③支援の3年間で毎年ステップアップを求めるのはなぜか。					
④支援が終了した後、その地域が自立できると考えているのか。					
⑤この制度に参加したくてもできなかった地域をどのように考えているのか。					
⑥平成27年度末で事業が終了するが今後の取り組みは。					
<p>観光の環境整備</p>	<p>観光地「かやぶきの里」へのアクセスについて</p>	① 地域発展を進める上から観光施設の充実は重要になってくると考える。美山へ来られた観光客を迎えるのに道の駅「美山ふれあい広場」を整備すべきと思うがどうか。	<p>市 長 担当部長</p>		
		②道の駅を整備するのに道路と一体で考えるべきと思うが。			
		①京都縦貫道上「園部インター」付近に案内看板設置を。		<p>市 長 担当部長</p>	
②上平屋、安掛間の道路改修が必要と思うが。					
③観光客が「かやぶきの里」に個人で来られるのに公共交通を利用されている。利用者の利便性を考え、改善を要すると思うが。					

平成27年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表

No.2

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者
丹政会 柿迫 正紀 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午後	スクールバス運行事業	美山小学校の乗降場所は	交通安全対策は万全か。	担当部長
	地域振興	小学校跡地利用のための環境整備について	鶴ヶ岡小学校周辺のインフラ整備を。	市長
	林業振興	京都府林業ルネサンス推進事業について	大型加工施設の誘致による林業振興と定住促進を。	
	合併浄化槽	維持管理について	耐用年数を過ぎた合併浄化槽に対する市の方針は。また、現状の検査監視体制について伺う。	
みらい南丹 野中 一秀 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午後	企画政策	組織改編を受けての地方創生について	定住企画戦略課の現状の体制で地方創生が取り組めるのか。	市長
			今後の取り組み方について十分に部局と議論できているか。	
			地方創生戦略策定方針や第三者会議を設置の進捗状況は。	
			地方創生に真剣に取り組むためには、まず全体的な組織改革が必要ではないか。	
	財政	行財政改革について	行革においては、行革推進委員会や市民からの検証や見直し、要望がしっかりと実施に向けて反映されているか。	
			行革担当部署も組織改編毎に移動しているが、本年5月に総務部財政課に設置されたがこれまでの検証がどう行われたのか。	
			行革において、本市と府との重複事業の整理(すこやか子育て医療など)、事業事務の見直しや民間活力の導入など抜本的な改革が必要では。	
		抜本的な行財政改革のあり方について	行革を兼務の担当ではなく専門課を設置すべきと考えるが。	
			計画的な財政運営において新たな予算編成方式導入について早急に進めるべきと考えるが。	
			地方創生を確実に進めるためにも企画戦略課の職員数を再検討すべきと考えるが。	
無所属 面村 好高 (一問一答) 質問予定日 6月11日 午後	地方創生	地方版総合戦略策定について	①地方版総合戦略策定にむけた進捗状況について伺う。 ②基本目標と基本的方向についての考えを伺う。 ③地方版総合戦略では基本目標における数値目標や具体的な施策における重要業績評価指標(KPI)の設定、並びに具現化のためのPDCAサイクルの確立が求められている。総合戦略策定後の評価システムの構想と今のシステムの活用をどのように考えているか伺う。 ④地方版総合戦略策定にあたり民間コンサルティング企業等との関わりあいについて伺う。 ⑤地方版総合戦略策定と議会との関係について伺う。	市長 担当部長
	人口減少	人口減少対策について	①定住アクションプランでの平成29年度人口フレーム34,000人に向けた現状認識について伺う。 ②18歳から45歳までの人口動態のうち、社会増減の状況から現状および今後の対応について伺う。	市長 担当部長
	小学校再編	再編後の新しい学校の状況について	①スクールバス運行の状況について伺う。 ②再編された小学校の加配教職員の状況と加配の期限について伺う。 ③子供たちの学校生活は再編により、学校が変わり、同級生仲間が増えるなど大きく変化した。子供たちは新しい環境のもとで楽しく仲良く学校生活が過ごしているのか現状について伺う。 ④新しい環境による影響なのか、当初子供たちの授業態度が乱れていたと聞く。現状および対応について伺う。	教育長
日本共産党 南丹市議会 議員団 仲 絹枝 (一問一答) 質問予定日 6月12日 午前	まちづくり	八木駅舎改築について	①八木駅舎改築の進捗状況について伺う。 ②JRとの協議の中身は。 ③階段の安全対策が図れないか。	市長 担当部長
	くらし	交通政策について	①デマンドバスを土・日も運行できないか。 ②路線の拡大を図る考えは。	
	教育	小学校再編について	①再編した4校の現状と課題について伺う。 ②各校の加配教員(バス添乗員の任務と待遇)について伺う。 ③スクールバス運行に関わる添乗員配置の今後の見通しは。 ④美山地域の再編準備の進捗状況は。	教育長

平成27年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表

No.3

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者	
<p>活緑クラブ 川勝 儀昭 (一問一答)</p> <p>質問予定日 6月12日 午前</p>	住民自治	自治振興補助金について	集会所の新築・改築、コミュニティー広場、運動公園等の新設改良、また、地域環境整備事業に係る施設の災害復旧、危険防止対策等の事業内容であるが、全ての行政区を同一の対象として取り扱われるが、各地域の世帯数を考慮した要綱にする必要があると考えるが所見を問う。	市長	
	都市計画	市街化の促進について	市街化区域内のライフライン整備について、市街化の促進と定住促進の観点から、将来を見極めた配水管整備についての考え方について問う。	市長	
	農林、土木、下水道	木原、池ノ内地域の諸課題について	両地域の諸課題に対する現状認識と、今後の市としての対応について、所見を問う。	市長	
<p>公明党 林 茂 (一問一答)</p> <p>質問予定日 6月12日 午後</p>	介護保険	第6期介護保険料基準額について	府下で基準額が最も高く、引き上げ幅も最高となった要因は。	市長 担当部長	
			定住促進に向け、どうアピールされるのか。		
			要介護認定を受ける高齢者の増加が見込まれる中、今後の対応についての考え方。		
	介護予防の更なる充実強化を図るには。				
福祉環境	新火葬場建設に向けて	現時点での進捗状況について。 用途について、近年葬儀の形態も多様化しており、少人数の通夜、告別式が行える施設にとの声もある。検討は可能か。	市長		
社会保障と税の共通番号制度	個人情報保護とマイナンバー制度について	10月から市民一人一人に番号が通知され、明年1月から一部運用が開始されますが、円滑な導入に向け、市民特に高齢者や障がい者など情報弱者への周知を加速させる推進が必要なのは。 DV被害で住民票を残したまま他地域で暮らしている方への通知及び周知は。	市長		
<p>丹政会 仲村 学 (一問一答)</p> <p>質問予定日 6月12日 午後</p>	社会保障	マイナンバー制度について	①メリット・デメリットについて何う。	市長	
			②個人情報の管理体制について何う。		
			③市民の皆様への周知等、今後の対応について何う。		
	子育て支援	放課後児童クラブについて	①受入対象拡大に向けた計画について何う。	市長 教育長	
			②開設時間の延長について何う。		
			③開設場所と環境改善について何う。		
④小学校再編整備計画による今後の体制について何う。					
地域経済	全国育樹祭について	①約5000人の式典参加者が訪れる。今後の計画について何う。	市長		
		②地元特産品等のPRや販売促進について何う。			
		③環境整備について何う。			
<p>みらい南丹 廣瀬 孝人 (一問一答)</p> <p>質問予定日 6月12日 午後</p>	地域振興	地域経済の活性化について	「まち・ひと・しごと創生」を地域経済にどう生かすのか。	市長	
		農家の活性化と農家収入の増加について	農家民泊や日帰り体験ツアーをどう生かすのか。		
		森林の活用と活性化について	CLT(直交集成材)の活用推進はどこまで進んだか。		
		支援員との連携する担当職員の選任について	担当職員を配置出来たのか。		
	商工観光		商店街の活性化について	今年度の市としての商店街への取組みは。	市長
			商店街の街路灯について	一部の商店会から要望が提出されているが。	
			南丹パーキングの活用について	7月18日に縦貫道が開通する。南丹パーキングの活用は。	
			中心市街地の完成について	中心市街地に拠点を建てる事で活性化がはかれるのか。	
	都市計画		八木駅舎について	住民の意向を取り入れて進めていただいているが、旧駅舎は。	市長
			本郷・垣内線について	市の事業は完成したが、今後の事業推進は。	
			春日神社線の拡幅工事について	拡幅工事が進められているが、工期内に完成するのか。	
			地区計画について	廃校利活用には「地区計画」の推進が必要と思うが、いつごろに認可が下りる見通しなのか。	

平成27年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表

No.4

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答弁者
日本共産党 南丹市議会 議員団 野村 健 (一問一答) 質問予定日 6月12日 午後	環境対策について	塩化ビニールなど廃棄物の処理について	1. 船岡区内の工場で、塩化ビニール系廃棄物が粉碎処理、堆積されているが、対応はどうか。 2. 船岡浄水場の取水井への影響はないか。	市長 担当部長
	政治姿勢について	安保法案についての見解はどうか。	1. 安保法案＝戦争法案の審議を通じて、武力行使の危険性が一層深まり、廃案の必要性を感じる。市長の見解を求める。 2. 南丹市内から自衛隊への入隊者の現状はどうか。	市長
	農業振興について	中山間地の農業存続の方針はどうか。	1. 家族経営を含む多様な形態が必要と思うが、その見解、方針はどうか。	市長
	教育行政について	体操着など教育用品の販売・委託について	1. 取扱店の変更は、学校の判断か、保護者の利用の便宜を重視すべきではないか。	教育長
丹政会 谷尻 宣雄 (一問一答) 質問予定日 6月15日 午前	農村振興	市の施設を宿泊施設として有効活用する考えは。	農村体験を希望し、農村へ来てくれる都会の子ども達が増えている。しかし、農村での滞在時間が少ない現状があり、滞在時間を長く、農村の本当の良さを都会の子どもたちに体感してもらうために、現在の市の施設を安価な「農村暮らし体験宿泊施設」として活用する考えはないか、市長に伺う。	市長
	まちづくり	若者が集うまちづくりに向け、公共施設を開放する考えは。	若者や一般住民が気軽に集える場所として公共施設を曜日を定めて、夜に無償で開放することにより、地域の人びとや若者たちの交流ができ、活気に繋がる場所の提供を行う考えはないか、市長・教育長にお伺いする。	市長 教育長
	福祉	1. 「ふれあい・いきいきサロン」の現状と今後の進め方は。 2. 健康寿命を延ばすための取り組みについて。	1. 現在、社会福祉協議会において、各集落ごとを対象とした「サロン」の取り組みが行われているが、各町により取り組み状況が異なっている。今後の高齢化社会において、各集落の公民館を使用する集落サロンの取り組みが必要であると考えるが、市長の考え方を伺う。 2. 各集落の公民館を活用した健康寿命を延ばすための予防活動の取り組みの具体化について伺う。	市長
無所属 山下 秋則 (一問一答) 質問予定日 6月15日 午前	災害時要援護者避難支援対策	「災害時要援護者支援台帳」等について	1. 「災害時要援護者支援台帳」及び個別計画の登録・策定状況について 2. 災害対策基本法で定める「避難行動要支援者名簿」と本市の「災害時要援護者支援台帳」との関係について 3. 「支援台帳」の登録対象者に対する登録者の割合が低いと考えるが、登録者数を増やす取り組みはどうか。 4. 台帳の更新と関係機関との情報共有の状況について 5. 災害時における台帳未登録者等の安否確認、情報提供について	市長 担当部長
	学校教育	経済的に困難な家庭の子どもに対する教育支援について	「子どもの貧困対策の推進に関する法律」では、「国及び地方公共団体は、就学の援助、学資の援助、学習の支援その他の貧困の状況にある子どもの教育に関する支援のために必要な施策を講ずるものとする」とされ、大綱では、「教育支援」「生活支援」「保護者の就労支援」「経済的支援」の4支援を重点施策として取り組むとされた。 中でも「教育支援」は、最重要課題であり、「学校をプラットフォームとした総合的な対策」を進めるとし、これを受け、府教育委員会も重点的に取り組むとされている。 これらのことを踏まえ、以下の点について伺う。 ①家庭の経済力と学力についての本市内の状況と教育長の認識 ②本市小・中学校における取り組みの現状と今後について ③地域による学習支援の取り組みの現状と今後について ④高校生や大学生を対象とする市独自の奨学金制度創設の考えはないか。	市長 教育長
	地域振興	「自治振興補助金」について	「自治振興補助金」は、交付要綱が一部改正され、今年度から「集会所に必要な事務用品」が新たに補助対象となった。これに関して、以下の点について伺う。 1. 今回の改正のねらいと補助金申請の状況 2. 建築年数を経た集会所では、畳の間での座卓使用のところが多く、生活スタイルの洋式化などから、座卓から会議用テーブル(立脚)・椅子に変えたいとする自治会が多いと聞く。会議用テーブルの整備を補助対象に加える考えはないか。	市長 担当部長
無所属 前田 義明 (一問一答) 質問予定日 6月15日 午後	上水道	南丹市の水について	本市において、市民の人々の生活や経済にかかす事の出来ない南丹市の水という物について、市長はどの様に考えられているのかを伺う。	市長
		上水道について	南丹市で水を必要とする者に、安心・安全な水の安定供給と様々な事態に対する行政と業者の危機管理体制について伺う。	担当部長
	保健医療	市民に対する感染症の脅威について	いつ起こるか分からない社会的影響が大きな病原性の高い感染症などが本市に発生した場合、重症者やその者の最悪の事態も予想されるが、この様な事が起こりえる事に対して、どの様に市長は考えられているかを伺う。	市長